

#2  
10-6-01  
SM

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Patent Application of: )  
Shoji SUZUKI )  
Serial No.: To be assigned ) Group Art Unit: Unassigned  
Filed: April 25, 2001 ) Examiner: Unassigned  
For: METHOD OF DATA )  
PROCESSING SERVICE FOR )  
DIGITAL CAMERA AND )  
SYSTEM USING THE SAME )

JC996 U.S. PTO  
09/842017  
04/26/01

**SUBMISSION OF CERTIFIED COPY OF PRIOR FOREIGN  
APPLICATION IN ACCORDANCE  
WITH THE REQUIREMENTS OF 37 C.F.R. §1.55**

*Assistant Commissioner for Patents  
Washington, D.C. 20231*

*Sir:*

In accordance with the provisions of 37 C.F.R. §1.55, the applicant submits herewith a certified copy of the following foreign application:

Japanese Patent Application No. 2000-378462  
Filed: December 13, 2000

It is respectfully requested that the applicant be given the benefit of the foreign filing date as evidenced by the certified papers attached hereto, in accordance with the requirements of 35 U.S.C. §119.

Respectfully submitted,

STAAS & HALSEY LLP

Date: April 25, 2001

By: \_\_\_\_\_

James D. Halsey, Jr.  
Registration No. 22,729

700 Eleventh Street, N.W., Suite 500  
Washington, D.C. 20001  
(202) 434-1500

日 本 国 特 許 庁  
PATENT OFFICE  
JAPANESE GOVERNMENT



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日  
Date of Application:

2000年12月13日

出 願 番 号  
Application Number:

特願2000-378462

出 願 人  
Applicant(s):

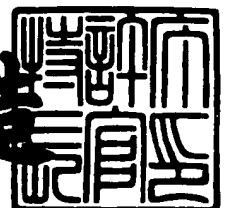
富士通株式会社

CERTIFIED COPY OF  
PRIORITY DOCUMENT

2001年 2月23日

特 許 庁 長 官  
Commissioner,  
Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3010193

【書類名】 特許願

【整理番号】 0052056

【提出日】 平成12年12月13日

【あて先】 特許庁長官 及川 耕造 殿

【国際特許分類】 G06F 15/21

【発明の名称】 デジタルカメラのデータ処理サービス方法及びそのシステム

【請求項の数】 5

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号 富士通株式会社内

【氏名】 鈴木 祥治

【特許出願人】

【識別番号】 000005223

【氏名又は名称】 富士通株式会社

【代理人】

【識別番号】 100094514

【弁理士】

【氏名又は名称】 林 恒▲徳▼

【代理人】

【識別番号】 100094525

【弁理士】

【氏名又は名称】 土井 健二

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 030708

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】            要約書    1

【包括委任状番号】    9704944

【プルーフの要否】    要

【書類名】明細書

【発明の名称】デジタルカメラのデータ処理サービス方法及びそのシステム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】店舗において、ユーザーのデジタルカメラのメモリに記憶された撮影画像データを読み込むステップと、

前記店舗において、読み込んだ撮影画像データを、前記ユーザーがアクセスできる記憶媒体に保存するステップとを有することを

特徴とするデジタルカメラのデータ処理サービス方法。

【請求項 2】前記保存するステップは、

前記ユーザーが所持する記憶媒体に保存するステップからなることを

特徴とする請求項 1 のデジタルカメラのデータ処理サービス方法。

【請求項 3】前記保存するステップは、

ネットワークを介し前記ユーザーがアクセスできる記憶媒体に転送し、保存するステップからなることを

特徴とする請求項 1 のデジタルカメラのデータ処理サービス方法。

【請求項 4】前記読み込みステップは、

前記デジタルカメラの種類を認識するステップと、

認識種類に応じた読み込み方法で、前記デジタルカメラのメモリに記憶された撮影画像データを読み込むステップからなることを

特徴とする請求項 1 のデジタルカメラのデータ処理サービス方法。

【請求項 5】店舗において、デジタルカメラのデータ処理サービスを行うシステムにおいて、

ユーザーのデジタルカメラのメモリに記憶された撮影画像データを読み込むインタフェース部と、

前記読み込んだ撮影画像データを、前記ユーザーがアクセスできる記憶媒体に保存する制御部とを有することを

特徴とするデジタルカメラのデータ処理サービスシステム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、小型、軽量のデジタルカメラの使い勝手を改善するデータ処理サービスを提供するデジタルカメラのデータ処理サービス方法及びデータ処理システムに関する。

【0002】

【従来の技術】

近年のデジタルカメラの普及に伴い、多くのユーザが手軽にデジタル写真を撮影する場面が増えてきた。実際、デジタルカメラは、1999年全世界で585万台出荷し、2000年には全世界で1000万台以上出荷されると予想されている。また、デジタルカメラの性能アップも目覚しく、撮影可能な画素数も300万画素以上になってきている。

【0003】

このデジタルカメラは、撮影したその場で、画像を見ることができ、何度でも取り直すことができる。又、基本的に、フィルムカメラのように現像代金が必要ないため、何枚でも気軽に撮影できるという便利さを有する。このようなデジタルカメラは、フィルムカメラと同様の使い勝手が要求される。

【0004】

このデジタルカメラの使用方法は、デジタルカメラでデジタル写真を撮る。撮った画像データは、液晶表示器等のモニターで確認できるとともに、デジタルカメラ内に備える記憶メディア(内部メモリ、コンパクトフラッシュやスマートメディアなど)に保存される。

【0005】

通常、デジタルカメラ内の記憶メディア容量までの枚数しか撮影しない(撮影できない)。更に、撮影したい場合、撮影済み画像を一部消去するか、記憶メディアを交換できるカメラでは、記憶メディアの予備を持参してカメラ内の記憶メディアを交換する。

【0006】

このデジタルカメラの画像データは、主に、自宅のパーソナルコンピュータ(PC)、カラープリンタで利用される。即ち、デジタルカメラのユーザは帰宅し

、自分のPC内のハードディスクや他の記憶装置(光ディスク(MO)やCD-R、大容量フロッピーディスクなど)に画像データを転送・保存する。又、自宅のPCにおいて、PC上の画像アプリケーションソフト(市販あるいはデジタルカメラに付属しているソフト)を利用して、サムネイル作成や画質補正、印刷などの処理を行う。

#### 【0007】

##### 【発明が解決しようとする課題】

このようなデジタルカメラでは、通常のフィルムカメラと同様の重量、小型化が望まれる。例えば、旅先にも手軽に持ち運びできる重量、サイズが要求される。デジタルカメラも種々のものがあり、内部メモリを有するもの、交換可能なメモリを有するもの、大容量記憶ドライブを有するものがある。

#### 【0008】

光ディスク(DVD、MO等)等のドライブを搭載するものは、大容量記憶メディアを使用するため、比較的撮影枚数を増加することができる。しかし、ドライブ機構は、大きく、重量も重い。このため、ドライブ機構を内蔵したデジタルカメラは、フィルムカメラのように、手軽に持ち運びできないという問題がある。

#### 【0009】

一方、ドライブ機構を搭載しないデジタルカメラでは、画像データを記憶するため、半導体メモリを搭載する。このため、デジタルカメラを小型、軽量化でき、例えば、重量をフィルムカメラ並に、200g～400g程度にできる。

#### 【0010】

しかし、現状のデジタルカメラに付属する又は内蔵する記憶メディア(コンパクトフラッシュやスマートメディアなど)の容量は、8から16MByte程度である。デジタルカメラの画像データは、高解像度化しており、高画質モード(データ圧縮をあまりしない)では、画像1枚が1MByte近いデータ量となるので、この記憶メディアでは、たかだか10枚程度しか撮影できない。このため、記憶メディアを交換できないデジタルカメラでは、ユーザは少ない撮影枚数で我慢するか、画質落とす必要があり、特に旅行で持ち運ぶ際に、不都合を感じる

という問題がある。

【 0 0 1 1 】

又、記憶メディアを交換できるデジタルカメラでは、制限を感じないで画像を撮影するためには、ユーザは追加の記憶メディアを購入することになる。しかし、コンパクトフラッシュ等の半導体記憶メディアは、まだまだ高価であり(例えば、128MB y t eコンパクトフラッシュで、4万円)、デジタルカメラと同等の価格となる場合もある。従って、容易に記憶メディアを追加できないという問題が生じる。

【 0 0 1 2 】

このようなデジタルカメラの記憶容量の不足を補う方法として、デジタルカメラとは別体のドライブ機構や小型P C (パーソナルコンピュータ)を携帯し、デジタルカメラからドライブ機構やP Cに画像を保存することが考えられる。しかし、この方法では、携帯型P Cやドライブ機構は、まだ重く(1K g前後)、デジタルカメラの他に、持ち運ぶことは大変である。更に、携帯型機器は価格が高価である。このため、フィルムカメラのような手軽さが阻害されるという問題がある。

【 0 0 1 3 】

従って、本発明の目的は、小型、軽量のデジタルカメラの使い勝手を向上するためのデジタルカメラのデータ処理サービス方法及びそのシステムを提供するにある。

【 0 0 1 4 】

又、本発明の他の目的は、デジタルカメラの記憶容量が小さくても、ユーザーの出先で撮像枚数を手軽に、安価に増加するためのデジタルカメラのデータ処理サービス方法及びそのシステムを提供するにある。

【 0 0 1 5 】

更に、本発明の他の目的は、デジタルカメラの記憶容量に制限されず、手軽にデジタル撮影を行うためのデジタルカメラのデータ処理サービス方法及びそのシステムを提供するにある。

【 0 0 1 6 】



## 【課題を解決するための手段】

この目的の達成のため、本発明のデータ処理サービス方法は、店舗において、ユーザーのデジタルカメラのメモリに記憶された撮影画像データを読み込むステップと、前記店舗において、読み込んだ撮影画像データを、前記ユーザーがアクセスできる記憶媒体に保存するステップとを有する。

## 【0017】

本発明では、比較的撮影枚数の少ない小型、軽量のデジタルカメラを出先、旅行先で利用しても、サービス端末の存在する店舗に、デジタルカメラを持っていくことにより、高価な記憶メディアを購入することなく、デジタルカメラの画像データを保存でき、撮影データ容量や保存、印刷の手間を考えずに、小型、軽量のデジタルカメラを存分に利用できる。又、店舗で、本サービスの展開することにより、コンビニエンスストア等の集客に貢献する。また、有料のサービスを提供することも同様に集客の効果、あるいはサービス実施による手数料収入の効果がある。

## 【0018】

又、本発明では、好ましくは、前記保存するステップは、前記ユーザーが所持する記憶媒体に保存するステップからなることにより、ユーザーに特定の記憶媒体を使用させることができ、記憶媒体、ドライブの販売を促進できる。

## 【0019】

更に、本発明では、好ましくは、前記保存するステップは、ネットワークを介し前記ユーザーがアクセスできる記憶媒体に転送し、保存するステップからなることにより、ユーザーは、デジタルカメラ以外のものを所持することなく、画像データの保管が可能となる。

## 【0020】

更に、本発明では、好ましくは、前記読み込みステップは、前記デジタルカメラの種類を認識するステップと、認識種類に応じた読み込み方法で、前記デジタルカメラのメモリに記憶された撮影画像データを読み込むステップからなることにより、店舗において、種々のメーカーのデジタルカメラのデータ処理サービスが可能となる。

【0021】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施の形態を、デジタルカメラのデータ処理サービスシステム、サービス処理端末、他の実施の形態の順で、図面に基づいて説明する。

【0022】

〔データ処理サービスシステム〕

図1は、本発明の一実施の形態のデータ処理サービスシステムの構成図、図2は、データ処理サービスのフロー図である。

【0023】

図1において、デジタルカメラ1は、記憶ドライブ機構の付加されていないものを対象とする。この種のデジタルカメラ1としては、メモリカードや液晶ディスプレイの付いたデジタルカメラや、メモリカードが交換できないデジタルカメラを利用でき、静止画のみならず、動画を撮像するものを含む。

【0024】

DPE店やコンビニエンスストア、キヨスク、観光地のお土産屋等の店舗3-1～3-Nに、デジタルカメラ1のサービス端末6を設置する。各店舗3-1～3-Nのサービス端末6は、インターネット5等の回線網を介し他店のサービス端末6、画像サーバー4、利用者のパーソナルコンピュータ（PC）7に接続される。

【0025】

このサービス端末6は、記憶ドライブ機構を有するパーソナルコンピュータをベースにした汎用端末又は専用端末で構成され、図3以下で後述するように、画像保存サービス、画像加工、印刷サービスを行う。画像サーバー4は、サービス端末6からの画像データ（撮影画像）を蓄積するものである。

【0026】

記憶メディア2は、大容量記憶メディアであり、例えば、光磁気ディスク（MO）で構成され、650MByte以上の容量を持つ。この記憶メディア2は、デジタルカメラ2に搭載すると、デジタルカメラ2の重量が重くなり、大きさが大きくなる。この記憶メディア2に、デジタルカメラの画像データが転送され、

画像データが保存される。

【 0 0 2 7 】

以下、記憶メディアとして、MOディスク(光磁気ディスク)を例にして、図2により、本発明のデータ処理サービスの基本的な流れを説明する。

【 0 0 2 8 】

(1) ユーザがデジタルカメラ1を購入すると、MOディスク2が付属品として添付される。あるいは、デジタルカメラ1のユーザ登録者に対し、MOディスク2無料送付する。このMOディスク2には、このデジタルカメラ1のID(例えば、製造メーカー、機種等)を記憶しておく。

【 0 0 2 9 】

(2) ユーザーは、デジタルカメラ1とこのMOディスク2とを持って、外出し、旅行先等で、デジタルカメラ1で撮影を行う。撮影画像データは、デジタルカメラ1内の記憶メディア(コンパクトフラッシュ等)10に格納される。

【 0 0 3 0 】

(3) デジタルカメラ1の記憶メディア10の容量を使いきったら、近くの店舗(コンビニエンスストアや写真店、土産物店など)に、デジタルカメラ1とMOディスク2を持っていく。

【 0 0 3 1 】

ユーザーが、画像保存サービスを希望する場合は、サービス端末6に、デジタルカメラ1又はその記憶メディア10を有線、無線で接続し、且つ自分のMOディスク2をドライブ機構に挿入する。サービス端末6は、MOディスク2のIDからデジタルカメラ1の特性を認識し、デジタルカメラ1又は記憶メディア10から画像データを読み出す。そして、MOディスク2への保存を希望する場合は、読み出した画像データをMOディスク2に、転送・保存する。データ転送は、メディア(コンパクトフラッシュやスマートメディア等)経由、あるいはUSBなどのIF経由で行う。

【 0 0 3 2 】

ユーザは、デジタルカメラ1の撮影した画像データを、MOディスク2に保存することで、デジタルカメラの記憶メディア10内データを消去でき、さらに新

規画像を撮影できるようになる。この店舗での画像データのMOディスク2（前述のID付き）への保存に関し、単純な転送・保存だけであれば無料で行う。

【0033】

（4）さらに、画像データの加工等を行う場合は有料としても良い。即ち、ユーザーの希望により、サービス端末6は、読み取った画像データから、サムネイル（縮小画像）作成やHTML（アルバム）化、画質補正、同時プリントなどの加工、印刷サービスを行う。データ転送は、メディア（コンパクトフラッシュやスマートメディア等）経由、あるいはUSBなどのIF経由で行う。

【0034】

さらに、サービス端末6は、ネットワーク経由のサービス（データ保管サービスや転送・印刷・配達サービス）なども提供する。即ち、店舗のサービス端末6から画像データをネットワーク5経由で送信し、大容量の記憶装置（サーバ内のハードディスクなど）4に、保存する。

【0035】

ユーザは、自分のMOディスク内画像データのバックアップとして利用しても良いし、手元に置かなくても良いような画像（撮影失敗したものやたくさんある類似の写真など）の保管庫として利用しても良い。更に、MOディスク2に画像を保存しない場合にも、サーバー4に画像を保存する。このサーバー4の画像は、ユーザーの自宅のPC7からアクセスし、ダウンロードすることで、撮影データをユーザーが得ることができる。

【0036】

更に、ユーザーの希望する他の店舗3-nのサービス端末6に画像データを転送し、サービス端末6で印刷を行う。この印刷を指定場所に配達することもできる。

【0037】

（5）ユーザーが、必要に応じて、MOディスク2を追加購入したり、MOドライブを購入して、MOディスク2の保存画像を有効に利用する。

【0038】

このようなデータ処理サービスでは、次の問題を解決できる。

## 【0039】

第1に、軽量、小型のデジタルカメラは、内部メモリ又は購入時に付属する記憶メディア10の容量は小さく、多くの枚数は撮影できず、旅行先等では、枚数を限るか、多くの枚数を撮影するには追加で記憶メディアを購入する必要がある。しかし、軽量、小型の半導体記憶メディアは、価格が高い。

## 【0040】

このデータ処理サービスでは、コンビニなどの店舗に、サービス端末6を設ける。ユーザーは、デジタルカメラ1とMOディスク(例えば、640MB以上)2を持参し、デジタルカメラ1の撮影データをそのMOディスク2に転送・保存してもらうことで、ユーザは小容量の記憶メディアのデジタルカメラ1で多くの枚数の撮影が可能になり、高価な記憶メディアを購入する必要がない。又、MOディスク1枚目は無料(デジタルカメラ付属)とすることにより、ユーザは高価な記憶メディアを購入する必要も無くなる。

## 【0041】

同様に、インターネット5を介しサーバー4に蓄積することにより、ユーザは小容量の記憶メディアのデジタルカメラ1で多くの枚数の撮影が可能になり、高価な記憶メディアを購入する必要がない。

## 【0042】

又、PCのハードディスクに、デジタルカメラの画像データを転送することは面倒で時間もかかり、画像加工(サムネイル化や画質補正、HTML化)や印刷なども、PCを所有しているが、PCに不慣れなユーザにとっては困難である。このシステムでは、店舗でのデータ転送・保存サービスは、店員による操作、あるいはPCより操作が簡単な全自動の機器によるため、ユーザの負担にはならない。

## 【0043】

さらに、店舗での追加有料サービスとして、様々な処理(サムネイル化や画質補正、印刷等)を受けることで、ユーザは手軽にデジタルカメラを利用できかつ撮影画像の活用もできる。

## 【0044】

その上、ユーザがサービスを受けるために店舗に来訪することは、店舗の集客

効果を持ち、店舗は他の物品の販売も期待できる。

【 0 0 4 5 】

さらに、MOドライブ・メディアメーカ、プリンタメーカ、もちろんデジタルカメラメーカにとって、上記サービスは他社を差別化可能なものであり、より多くのユーザ獲得(ビジネスとしての売上アップ)に効果的である。

【 0 0 4 6 】

又、デジタルカメラは、画像データの読み込み手順が、カメラメーカーにより異なるが、MOディスク2にIDを付加することで、自動的に読み込み特性を認識でき、店舗で各カメラメーカーのデジタルカメラの画像データ読み込み処理を容易に実行できる。

【 0 0 4 7 】

上述の実施の形態では、大容量記憶メディアに、MOディスクを例に説明したが、CD-R、CD-RW、DVD等他の方式の光ディスク、光カード、磁気ディスク等を使用してもよい。又、サービス端末6は、少なくとも、記憶メディアへの保存サービス又は記憶サーバーへの保存サービスを行えばよい。

【 0 0 4 8 】

[サービス処理端末]

図3は、本発明の一実施の形態のサービス処理端末の構成図、図4は、画像データ読み込み処理フロー図、図5は、画像データサービス処理フロー図である。

【 0 0 4 9 】

サービス処理端末6は、MOドライブ20、デジタルカメラ1とのIF(インターフェイス)部21、ユーザーIF部22、データ読み込み・書き込み・各種処理の全体制御部(作業用メモリやCPU、OSなど含む)23、データ処理部24、プリンタIF部25、ネットワークIF部26、および、データバス27から構成される。

【 0 0 5 0 】

MOドライブ20は、挿入されたMOディスク(光磁気ディスク)2を回転し、ヘッドでデータのリード/ライトを行う。デジタルカメラIF部21は、デジタルカメラ1とデータの送受を行う。ユーザーIF部22は、ディスプレイ、キーボード、マウス等で構成され、ユーザーに提供できる複数のデジタルカメラサー

ビスの処理 1、2、3 を指定する。

【 0 0 5 1 】

データ処理部 2 4 は、全体制御の一部、例えば、画像処理を行うプロセッサで構成される。プリンタ I F 部 2 5 は、外部のカラープリンタ 8 とのデータの送受を行う。ネットワーク I F 部 2 6 は、ネットワーク 5 とのインターフェイスである。

【 0 0 5 2 】

このサービス端末 6 の動作を説明する。ユーザーあるいは店舗の店員は、まずデジタルカメラ 1 と装置 6 を USB 等の I F で接続し、あるいはコンパクトフラッシュ等の記憶メディア 1 0 を装置 6 に挿入する。

【 0 0 5 3 】

次に、ユーザーの MO ディスク 2 をドライブ 2 0 に挿入し、データ転送指示をユーザインターフェイス部 2 2 により行う。全体制御部 2 3 は、デジタルカメラ 1 又は記憶メディア 1 0 からデジタルカメラ I F 部 2 1 を介し、画像データを読み込み、MO ドライブ 2 0 に転送する。これにより、デジタルカメラ 1 の画像データは MO ディスク 2 に書込まれる。

【 0 0 5 4 】

データ転送後、読み込みデータの加工処理を行う場合、ユーザー I F 部 2 2 から処理 1、2、3 等から一つ以上を選択し、指示を行う。全体制御部 2 3 は、この指示により、画像データの画像処理を指示し、プリンタ 8 でカラー印刷したり、ネットワーク経由でデータ配信したりする。

【 0 0 5 5 】

図 4 は、図 3 の装置 6 が持つデジタルカメラ I F 2 1 の処理フロー図である。本実施例では、USB インターフェイスを例に説明する。

【 0 0 5 6 】

( S 1 0 ) デジタルカメラ 1 又は記憶メディア 1 0 と本装置 6 のデジタルカメラ I F 部 2 1 が接続されると、まず I F 部 2 1 からどこのメーカーのデジタルカメラかの問い合わせを行う。

【 0 0 5 7 】

(S 1 1) 図 3 の装置(制御部 2 3)には、あらかじめ複数のメーカーの画像読み込み方式に対応したデジタルカメラ画像データ受信用ソフトを保存しておく。デジタルカメラ 1 又は記憶メディア 1 0 からの応答に対し、適切なソフトを選択・起動し、デジタルカメラ 1 又は記憶メディア 1 0 の画像データの読み込みを行う。

【 0 0 5 8 】

同様に、MOディスク 2 の I D を読み込み、デジタルカメラ画像受信用ソフトを選択、起動しても良い。又、MOディスク 2 の I D を認識し、デジタルカメラ 1 に付属したディスクであると識別し、転送サービスを無料とする。I D が異なれば、転送サービスは有料である。更に、MOディスクの I D と、デジタルカメラ 1 からの応答結果とを照合し、不正等を防止できる。

【 0 0 5 9 】

図 5 は、図 3 の装置のデジタルカメラ処理サービスの処理フロー図であり、図 3 の装置が読込んだ画像データに対して行う処理の例を示す。

【 0 0 6 0 】

(S 2 0) 図 4 の処理で読込んだ画像データは、圧縮された JPEG 形式であることが多いため、まず解凍を行い BMP (ビットマップ) 等のデータ形式に変換する。

【 0 0 6 1 】

(S 2 1) 続いて画像データ加工処理として、次のものを提供する。

【 0 0 6 2 】

- (1) 明るさやコントラスト、鮮やかさといった画像品質の改善処理、
- (2) 画像の縮小および縮小画像を並べたサムネイル作成処理、
- (3) 画像データを整理(縮小画像を並べ縮小前の本画像とリンクなど)して HTML 化するファイル作成処理、
- (4) プリンタでの印刷用データの作成およびプリンタ印刷処理、
- (5) ネットワーク経由の画像データ送受信処理、
- (6) 及び処理済み画像データの JPEG 圧縮や MO ディスク 2 への保存処理などである。

【 0 0 6 3 】



全体制御部 23 は、ユーザー I F 22 で指定された加工処理（即ち、上記各種サービス処理の少なくとも一つ以上）を実行する。このサービスは有料で提供し、サービスに対する対価を得るものである。

## 【0064】

画質改善処理、サムネイル作成処理、ファイル作成処理、プリンタ印刷処理、保存処理は、周知の画像加工処理を利用できる。ネットワークを経由した画像データの送受信を用いたサービス処理は、図 1 の店舗 3-1 から画像データをネットワーク 5 経由で送信し、大容量の記憶装置（サーバ内のハードディスクなど）4 に保存する。

## 【0065】

ユーザーは自分の MO ディスク内画像データのバックアップとして利用しても良いし、手元に置かなくても良いような画像（撮影失敗したものやたくさんある類似の写真など）の保管庫として利用しても良い。又、MO ディスク 2 を所有しない場合でも、画像データの保存ができる。管理に対して、たとえば 1 ヶ月いくらかの料金をユーザから徴収することもできる。これにより、ユーザは自分で画像データを管理する必要がなく、紛失する心配もない。この画像データは、自宅の PC 7 から引き出すことができる。

## 【0066】

また、同様に、店舗 3-1 から他の店舗 3-n に画像データあるいは手紙やアルバム形式に加工したデータファイルを送信し、受信店舗 3-n で印刷して、あて先のユーザーに手渡す（店舗で、あるいは配達で）サービスが可能である。たとえば、田舎の両親に孫の写真を送るようなサービスが考えられる。あるユーザが画像データを電子メール等で直接送信する場合、受取るユーザーも PC 操作に熟練している必要があるが、このサービスを利用すれば、送り手は画像データの編集や加工の手間がかからず、受けても印刷物としてすぐ見ることができるといったメリットがある。

## 【0067】

## 〔他の実施の形態〕

ネットワークは、専用回線とすることに、高速な画像データの送受が可能であ

り、例えば、コンビニエンスストアの専用回線を利用できる。又、サービス端末 6 は、店員が操作するものの他に、ユーザー自体が操作する自動機であっても良い。

【 0 0 6 8 】

以上、本発明を実施の形態により説明したが、本発明の趣旨の範囲内において、種々の変形が可能であり、これらを本発明の技術的範囲から排除するものではない。

【 0 0 6 9 】

(付記 1) 店舗において、ユーザーのデジタルカメラのメモリに記憶された撮影画像データを読み込むステップと、前記店舗において、読み込んだ撮影画像データを、前記ユーザーがアクセスできる記憶媒体に保存するステップとを有することを特徴とするデジタルカメラのデータ処理サービス方法。

【 0 0 7 0 】

(付記 2) 前記保存するステップは、前記ユーザーが所持する記憶媒体に保存するステップからなることを特徴とする付記 1 のデジタルカメラのデータ処理サービス方法。

【 0 0 7 1 】

(付記 3) 前記保存するステップは、ネットワークを介し前記ユーザーがアクセスできる記憶媒体に転送し、保存するステップからなることを特徴とする付記 1 のデジタルカメラのデータ処理サービス方法。

【 0 0 7 2 】

(付記 4) 前記読み込みステップは、前記デジタルカメラの種類を認識するステップと、認識種類に応じた読み込み方法で、前記デジタルカメラのメモリに記憶された撮影画像データを読み込むステップからなることを特徴とする付記 1 のデジタルカメラのデータ処理サービス方法。

【 0 0 7 3 】

(付記 5) 前記保存するステップは、記憶ドライブに挿入されたユーザーの記憶媒体に保存するステップからなることを特徴とする付記 2 のデジタルカメラのデータ処理サービス方法。

## 【 0 0 7 4 】

（付記 6）ユーザーの希望する画像データ処理サービスを選択するステップと、選択された画像処理サービスを実行するステップとを更に有し、前記保存ステップは、画像処理された画像データを前記記憶媒体に保存するステップからなることを特徴とする付記 1 のデジタルカメラのデータ処理サービス方法。

## 【 0 0 7 5 】

（付記 7）前記保存ステップは、ユーザーの記憶媒体に保存する第 1 のステップと、ネットワークを介し前記ユーザーがアクセスできる記憶媒体に転送し、保存する第 2 のステップとを選択するステップと、選択された保存ステップを実行するステップからなることを特徴とする付記 1 のデジタルカメラのデータ処理サービス方法。

## 【 0 0 7 6 】

（付記 8）店舗において、デジタルカメラのデータ処理サービスを行うシステムにおいて、ユーザーのデジタルカメラのメモリに記憶された撮影画像データを読み込むインタフェイス部と、前記読み込んだ撮影画像データを、前記ユーザーがアクセスできる記憶媒体に保存する制御部とを有することを特徴とするデジタルカメラのデータ処理サービスシステム。

## 【 0 0 7 7 】

（付記 9）前記制御部は、前記ユーザーが所持する記憶媒体に保存することを特徴とする付記 8 のデジタルカメラのデータ処理サービスシステム。

## 【 0 0 7 8 】

（付記 1 0）前記制御部は、ネットワークを介し前記ユーザーがアクセスできる記憶媒体に転送し、保存することを特徴とする付記 8 のデジタルカメラのデータ処理サービスシステム。

## 【 0 0 7 9 】

（付記 1 1）前記制御部は、前記デジタルカメラの種類を認識し、認識種類に応じた読み込み方法で、前記デジタルカメラのメモリに記憶された撮影画像データを読み込むことを特徴とする付記 8 のデジタルカメラのデータ処理サービスシステム。

【 0 0 8 0 】

（付記 1 2）記憶媒体をドライブする記憶ドライブを有し、前記制御部は、前記記憶ドライブに挿入されたユーザーの記憶媒体に保存することを特徴とする付記 9 のデジタルカメラのデータ処理システム。

【 0 0 8 1 】

（付記 1 3）ユーザーの希望する画像データ処理サービスを選択するユーザーインタフェース部を更に有し、前記制御部は、選択された画像処理サービスを実行し、前記画像処理された画像データを前記記憶媒体に保存することを特徴とする付記 8 のデジタルカメラのデータ処理サービスシステム。

【 0 0 8 2 】

（付記 1 4）ユーザーの希望する画像保存方法を選択するユーザーインタフェース部を更に有し、前記制御部は、前記選択に応じて、ユーザーの記憶媒体に保存する第 1 の保存処理と、ネットワークを介し前記ユーザーがアクセスできる記憶媒体に転送し、保存する第 2 の保存処理とを選択的に実行することを特徴とする付記 8 のデジタルカメラのデータ処理サービスシステム。

【 0 0 8 3 】

【発明の効果】

以上本発明によれば、下記の効果がある。

【 0 0 8 4 】

（1）比較的撮影枚数の少ない小型、軽量のデジタルカメラを出先、旅行先で利用しても、サービス端末の存在する店舗に、デジタルカメラを持っていくことにより、高価な記憶メディアを購入することなく、デジタルカメラの画像データを保存でき、撮影データ容量や保存、印刷の手間を考えずに、小型、軽量のデジタルカメラを存分に利用できる。

【 0 0 8 5 】

（2）店舗で、本サービスの展開することにより、コンビニエンスストア等の集客に貢献する。また、有料のサービスを提供することも同様に集客の効果、あるいはサービス実施による手数料収入の効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の一実施の形態のデジタルカメラのデータ処理サービスシステムの構成図である。

【図 2】

図 1 のシステムによるサービスの流れの説明図である。

【図 3】

図 1 のサービス処理端末の構成図である。

【図 4】

図 3 のデジタルカメラの画像データ読み込み処理フロー図である。

【図 5】

図 3 のデジタルカメラのデータ処理サービス処理フロー図である。

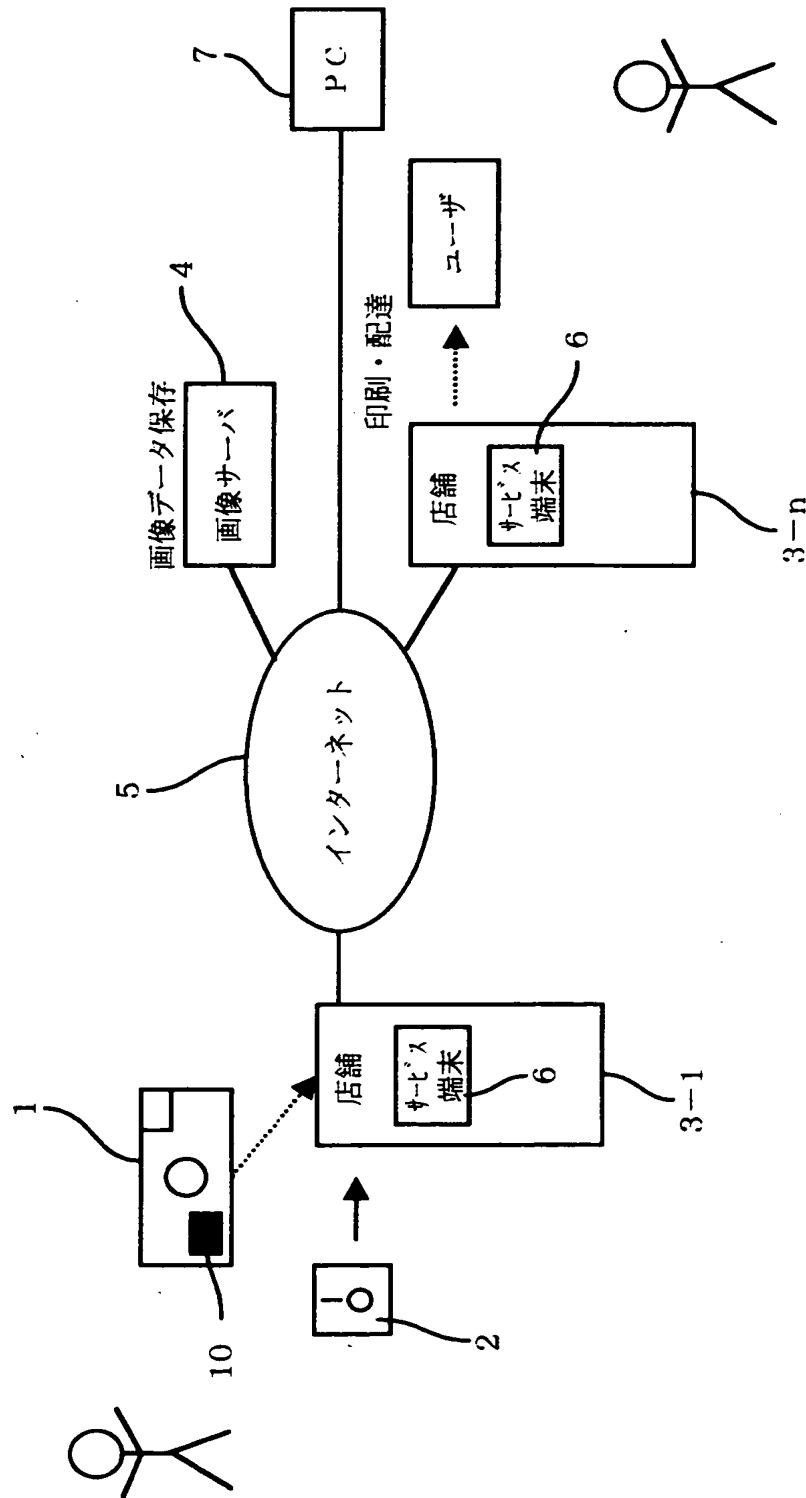
【符号の説明】

- 1 デジタルカメラ
- 2 大容量記憶メディア
- 3-1 ~ 3-n 店舗
- 4 画像サーバー
- 5 ネットワーク
- 6 サービス処理端末
- 7 パーソナルコンピュータ
- 8 カラープリンタ
- 10 デジタルカメラのメモリ
- 20 MOドライブ
- 21 デジタルカメラ I/F
- 22 ユーザー I/F
- 23 全体制御部
- 24 データ処理部
- 25 プリンタ I/F
- 26 ネットワーク I/F
- 27 データバス

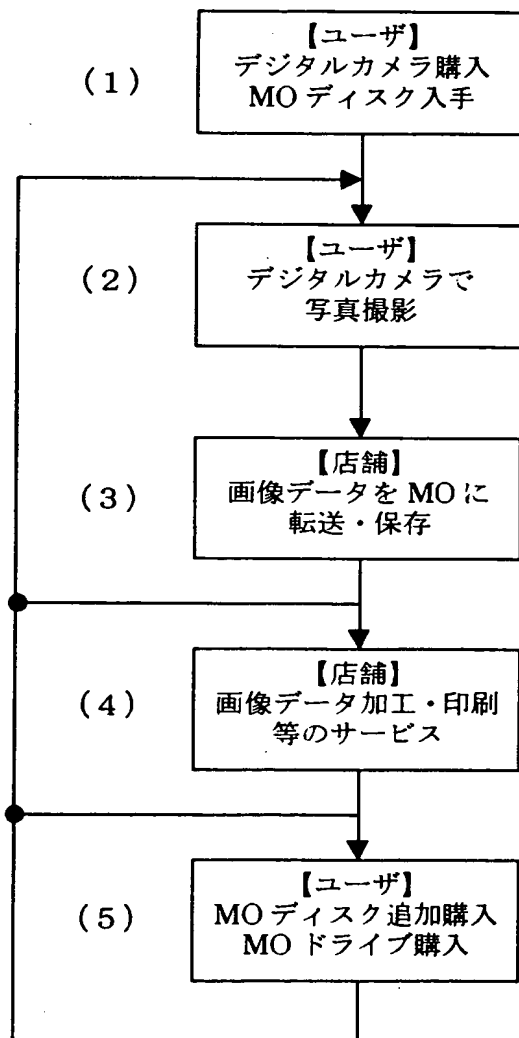
【書類名】

図面

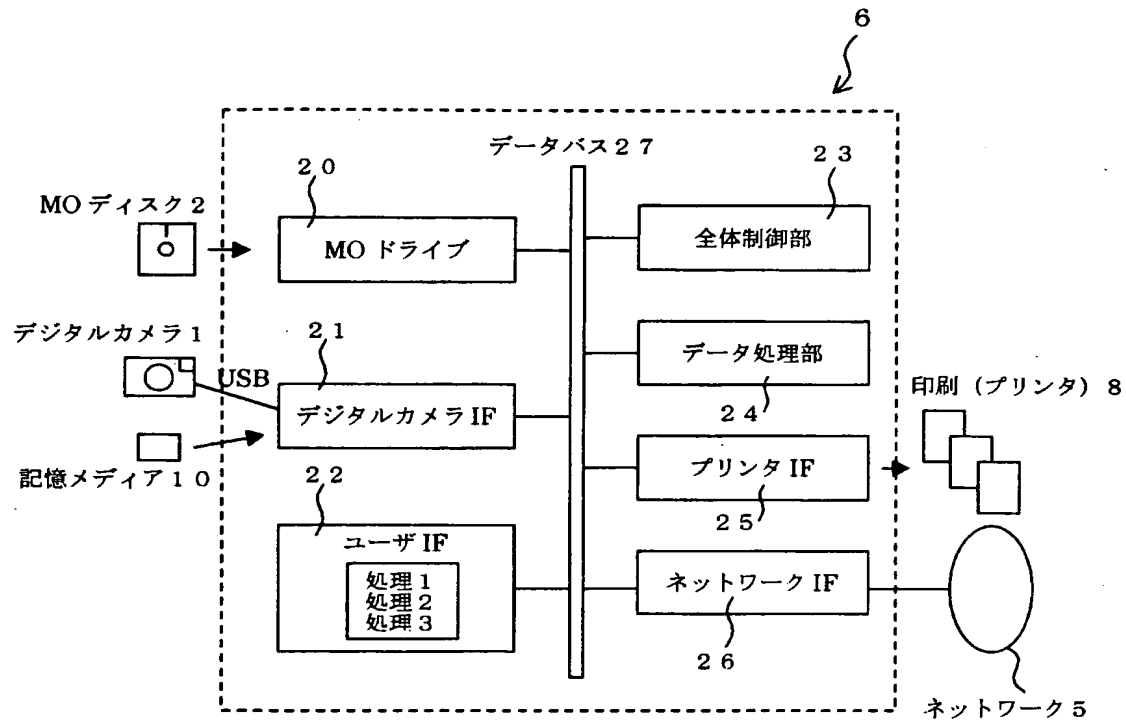
【図 1】



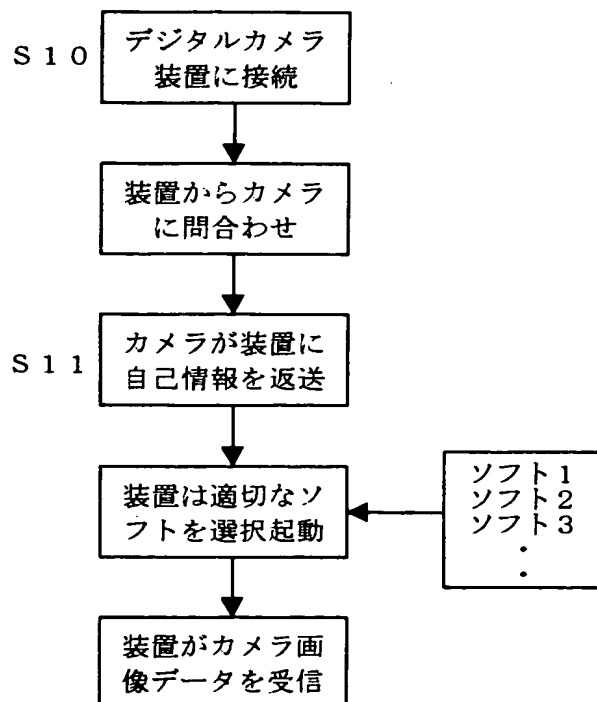
【図 2】



【図 3】

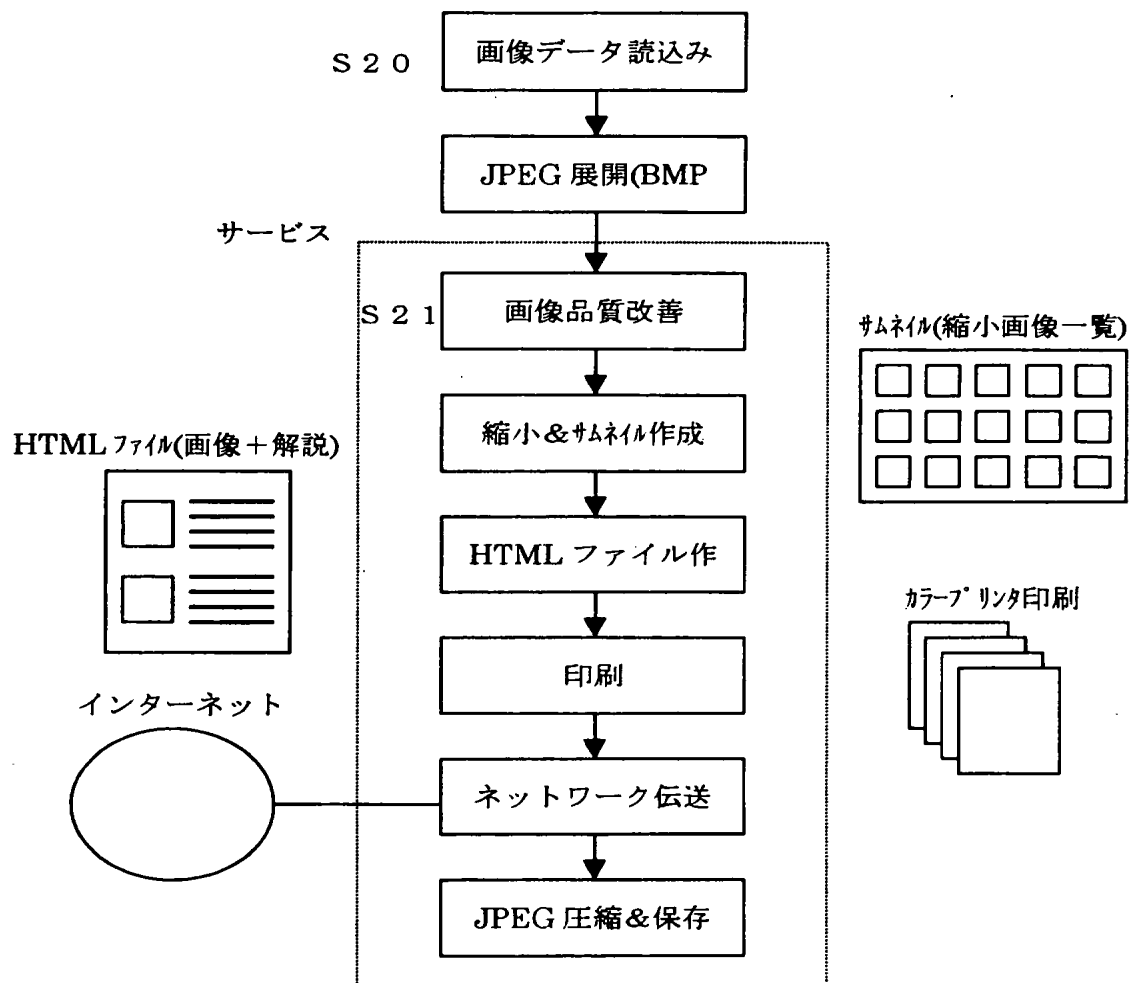


【図 4】





【図5】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 撮影枚数の少ないデジタルカメラのデータ処理サービスに関し、出先での撮影枚数を安価に増加する。

【解決手段】 店舗（３－１）において、サービス端末（６）が、ユーザーのデジタルカメラ（１）のメモリ（１０）に記憶された撮影画像データを読み込むステップと、前記店舗において、読み込んだ撮影画像データを、前記ユーザーがアクセスできる記憶媒体（２、４）に保存するステップとを有する。店舗で、デジタルカメラの画像データを保存するため、ユーザーは出先で、デジタルカメラ（１）に新たに撮影データを保存できる。

【選択図】 図１

認定・付加情報

特許出願の番号	特願 2000-378462
受付番号	50001605432
書類名	特許願
担当官	濱谷 よし子 1614
作成日	平成12年12月18日

<認定情報・付加情報>

【特許出願人】

【識別番号】	000005223
【住所又は居所】	神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号
【氏名又は名称】	富士通株式会社

【代理人】

申請人

【識別番号】	100094514
【住所又は居所】	神奈川県横浜市港北区新横浜3-9-5 第三東 昇ビル3階 林・土井 国際特許事務所
【氏名又は名称】	林 恒徳

【代理人】

【識別番号】	100094525
【住所又は居所】	神奈川県横浜市港北区新横浜3-9-5 第三東 昇ビル3階 林・土井 国際特許事務所
【氏名又は名称】	土井 健二

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005223]

1. 変更年月日 1996年 3月26日

[変更理由] 住所変更

住 所 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号

氏 名 富士通株式会社